

編集後記

2017 年 6 月号（第 34 巻第 1 号）をお届けいたします。

今回は、巻頭言は正留 隆 先生に、指標は黒田直敬 先生に、総説は大平慎一 先生のグループに、解説は鈴木保任先生・川久保進 先生に、FIA フロントラインは水口仁志 先生に、それぞれご執筆いただきました。研究論文は、私の研究室の柿内直哉 君（博士前期課程 2 年）に、初論文を投稿いただきました。査読いただいた 2 名の先生方、ありがとうございました。新刊紹介では、「原書 7 版 クリスチャン分析化学 I. 基礎編」および「原書 7 版 クリスチャン分析化学 II. 機器分析編」を、監訳者を務められた今任稔彦 先生と角田欣一 先生にそれぞれ紹介していただきました。JAFIA 会員には、原著の著者である Christian 先生や Dasgupta 先生の門下生も多く、同翻訳書の出版は感慨深いことです。同書の「クリスチャン Excel で解く分析化学」編もすでに出版されており、次号（第 34 巻第 2 号）において、角田先生とともに監訳者を務められた戸田 敬 先生にご紹介いただく予定です。学会情報は竹内政樹 先生にお願いしました。また、2016 年度の JAFIA 各賞の受賞者のうち、前号（第 33 巻第 2 号）に原稿が間に合わなかった R.B.R. de Mesquita 先生のフローインジェクション分析進歩賞受賞記事を載せております。

4 年間の空白の後、昨年 4 月に編集委員長という立場で JFIA 編集委員会に復帰し、1 年余が経過しました。本誌の学術誌としての価値の向上、誌面のさらなる充実、発行遅延の短縮を目標に据えておりますが、到達には遠く、心苦しく思っております。前号の編集後記にてご報告いたしましたように、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) の J-STAGE 登載誌として採択されました。各記事には DOI (デジタルオブジェクト識別子) が付されますので、本誌の価値向上のためには一歩前進という感じです。平成 30 年度からの登載に向けて、現在、JAFIA 事務局（九大院工）の石松 亮一 先生が各種の書類手続きを行って下さっています（ありがとうございます）。J-STAGE 登載誌として恥ずかしくないよう、奮ってご寄稿くださいますようよろしくお願い申し上げます。

これまで、JFIA 査読規定や各記事のデータベースを作成して参りました。次に手をつけなければならないと感じているのは、JFIA 投稿規定です。皆様もお気づきのことと存じますが、投稿規定にある原稿のカテゴリー（総説、研究論文、技術論文、トピックス、海外レポート、Q&A）が現状と一致しておりません。JAFIA 会員なら現状を理解できるでしょうし、「まあ、いいか」で済むかもしれませんが、JAFIA 会員以外、広く海外からも投稿していただくためには、up-to-date な投稿規定に改訂しなければと思います。次回の編集委員会の際に改訂案を提出したいと存じますので、編集委員の皆様にはよろしくお願い申し上げます。

JFIA 編集委員長 田中秀治